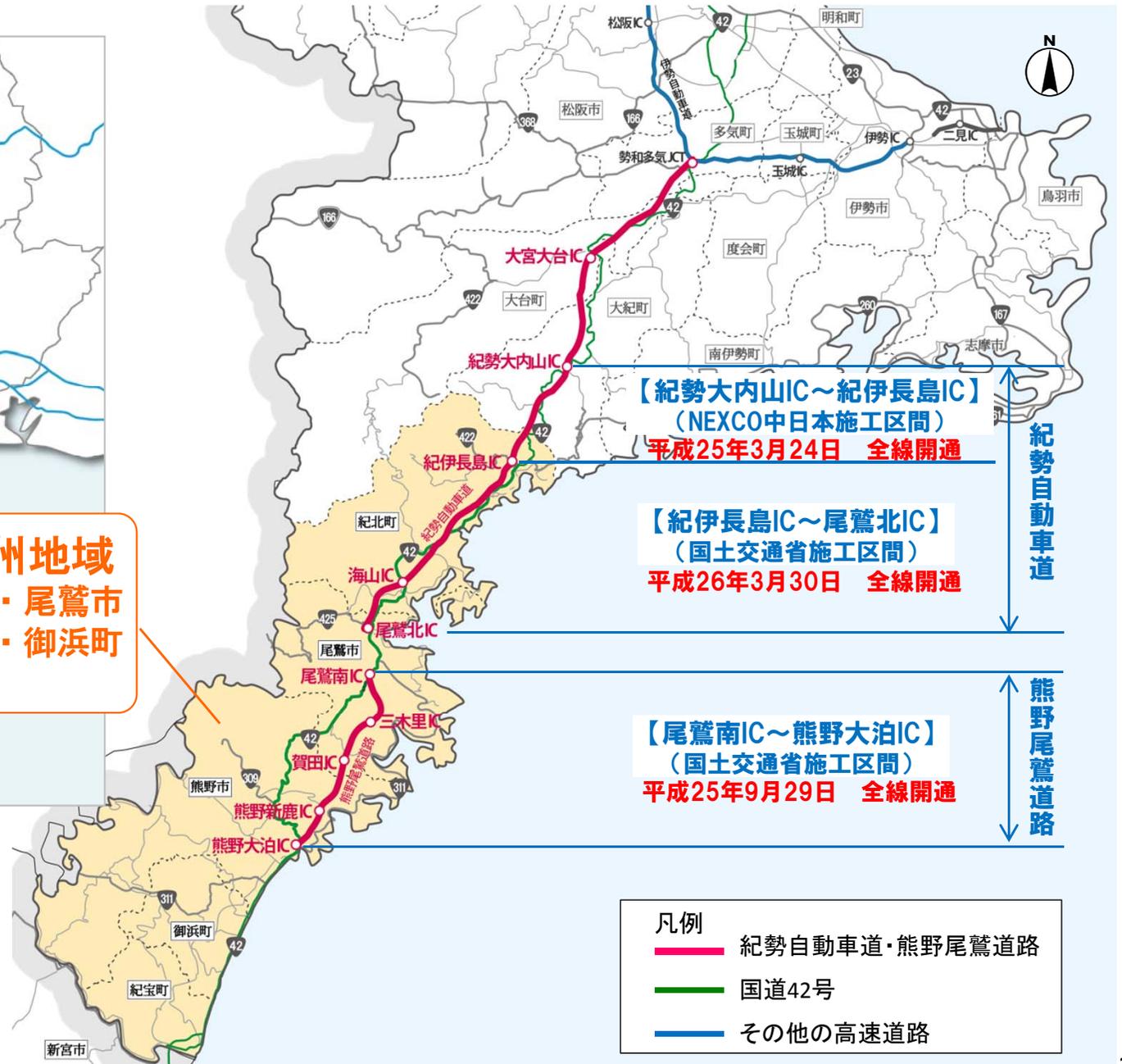


# ～高速ネットワークの形成～

■ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通により、東紀州地域は名古屋市などの各地域と高速ネットワークが形成されました。

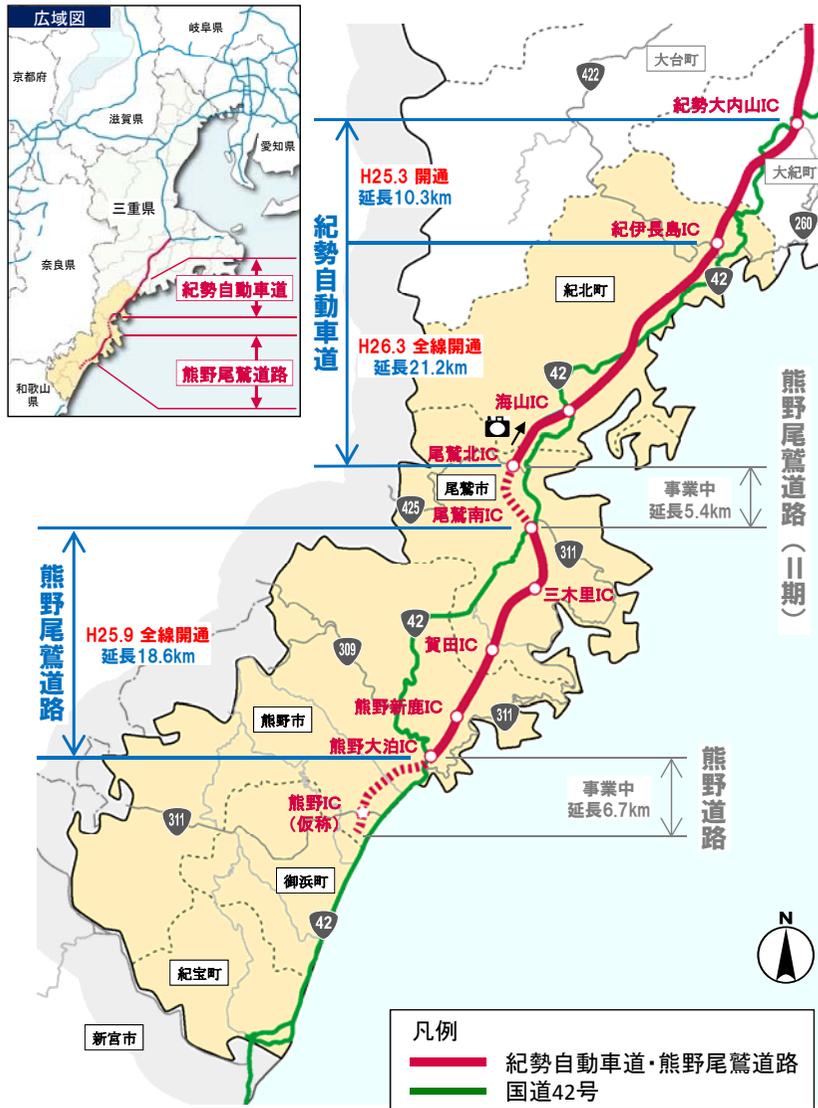
## ■ 広域図



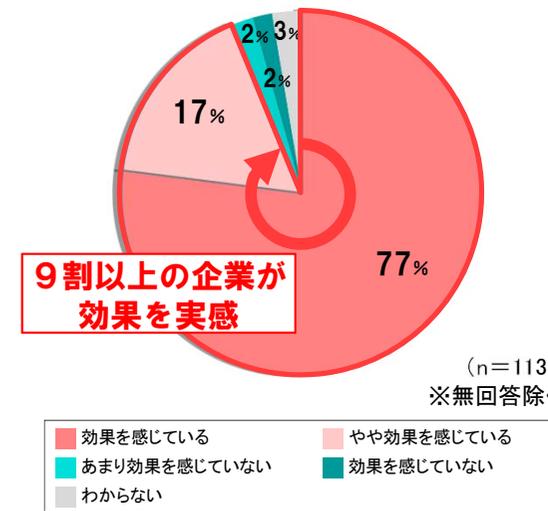
# ～企業活動・業績にプラスの影響～

- 東紀州地域に位置し、輸送を伴う企業258社※1を対象に、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通効果に関するアンケート調査を実施し、120社から回答いただきました。(回収率:46.5%)
- **回答企業の9割以上が開通による効果を実感し、実感している効果は、第1位が「輸送時間の短縮」、第2位が「災害時等のリスク低減」となっています。**
- **また、回答企業の7割以上が、開通により「業績にプラスの影響があった」と回答しています。**

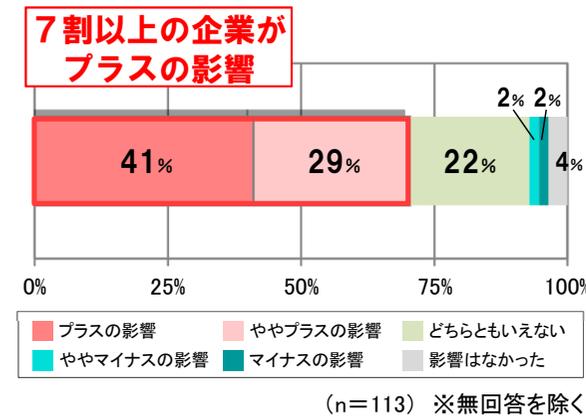
※1(株)帝国データバンクに登録され東紀州地域に会社が位置し、業種が農業、林業、漁業、鉱業、製造業、運輸・通信業、卸売業に該当する企業



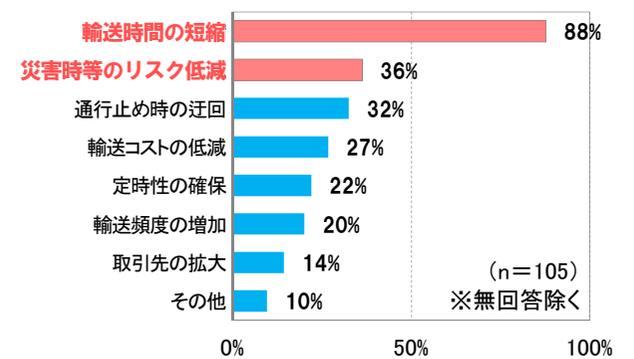
## ■開通による企業活動への効果の実感



## ■企業の業績への影響



## ■実感している効果



📷 紀勢自動車道を走行する活魚車

## ■熊野商工会議所の声

・輸送時間の短縮はもとより、当地域を長年悩ませた大雨や災害による通行止めが無くなったことが一番大きいと感じています。



※紀勢国道事務所による熊野商工会議所へのヒアリング結果

※紀勢国道事務所による東紀州地域の企業を対象にしたアンケート結果より作成  
 調査日:平成27年11月6日(金)配布 同20日(金)回答締切 配布:258社 回収:120社(回収率:46.5%)  
 ※回答を得た業種の内訳は、農業(8)、林業(2)、漁業(11)、鉱業(1)、製造業(41)、卸売業(38)、運輸・通信業(14)、不明(5)

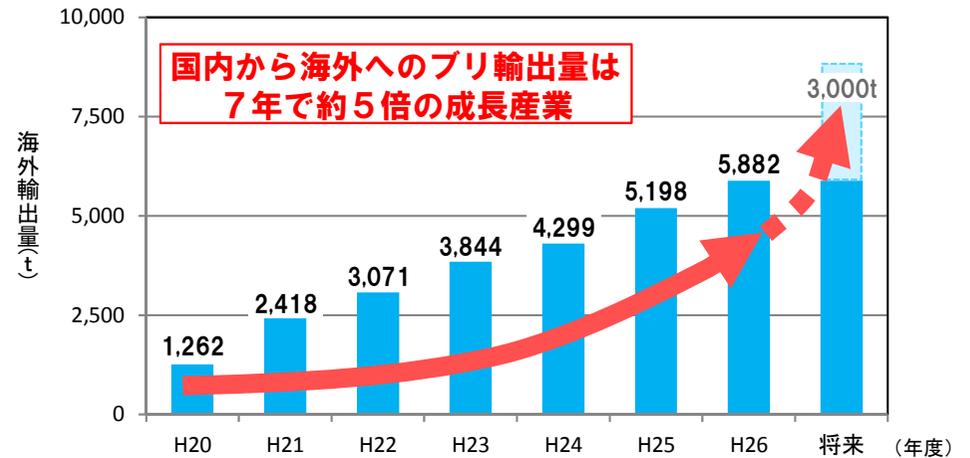
# ～水産業への民間投資が拡大～

- 国内から海外へのブリの輸出量は、**7年で約5倍の成長産業**となっています。
- 和歌山県新宮市では、加工処理能力が**国内最大級の水産物加工工場が竣工**し、平成28年3月には**養殖ブリの海外輸出の開始が予定される**など、**安定供給ルートの実現があいまって、民間投資が拡大**しています。
- **高速道路が養殖ブリのブランド化や更なる海外への販路拡大など、地域産業活動を支援**しています。

## ■(株)食縁の養殖ブリの出荷ルート



## ■ブリ(冷凍)の海外輸出量の推移



※財務省貿易統計より作成  
 ※冷凍ブリの集計が開始された平成20年以降の集計値

## ■養殖ブリの海外輸出を行う(株)食縁の声

- ・ 国内最大級の水産物加工工場が平成27年12月に新宮市に竣工しました。
- ・ 養殖ブリの海外輸出を行うにあたり、**空港・港までの輸送手段である高速道路を繋げてほしい**と思います。



※紀勢国道事務所・紀宝町・新宮市による (株)食縁へのヒアリング結果

## 約17億円を投資し建設



新宮市に竣工した国内最大級の水産物加工工場  
 ※(株)食縁提供

# ～貨物車両の搬送エリアが拡大～

- 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通とともに、**東紀州地域を発着する貨物車両の搬送エリアが関西圏で大幅に拡大**しています。
- 全線開通前の平成24年と比較し、開通後の平成26年では、**搬送エリア面積は約1.1倍、搬送エリア人口は約1.6倍に増加**しています。

before (開通前 平成24年)

## ■貨物車両の搬送エリアの面積

搬送エリア面積

約**2.1**万km<sup>2</sup>



## ■貨物車両の搬送エリアの人口

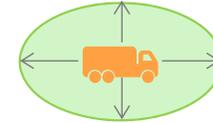
搬送エリア人口

約**1,287**万人



after (開通後 平成26年)

約**2.3**万km<sup>2</sup>



約**1.1**倍  
(約0.2万km<sup>2</sup>)増加

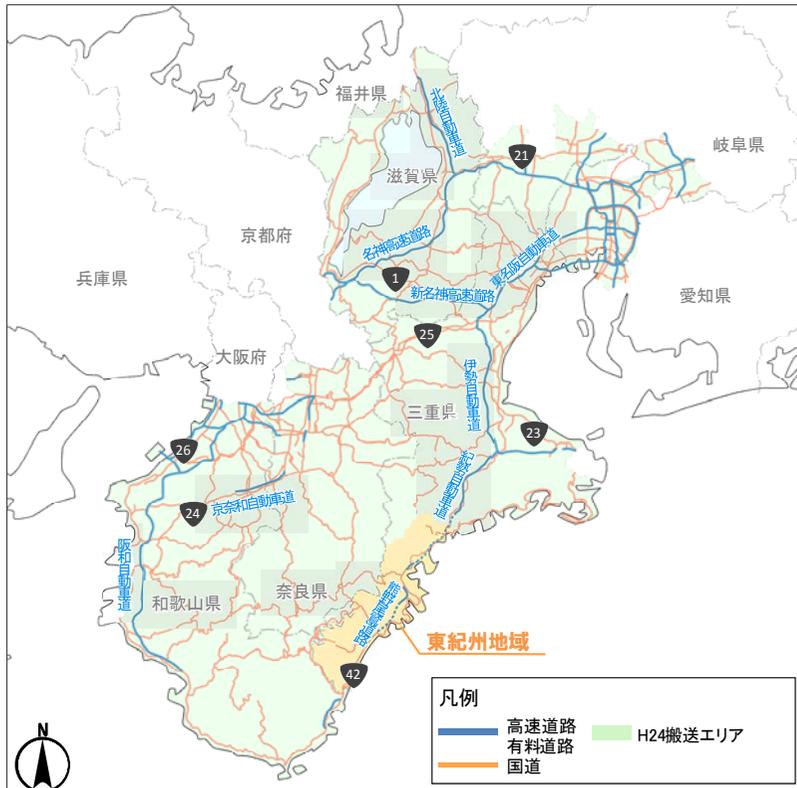
約**2,083**万人



約**1.6**倍  
(約796万人)増加

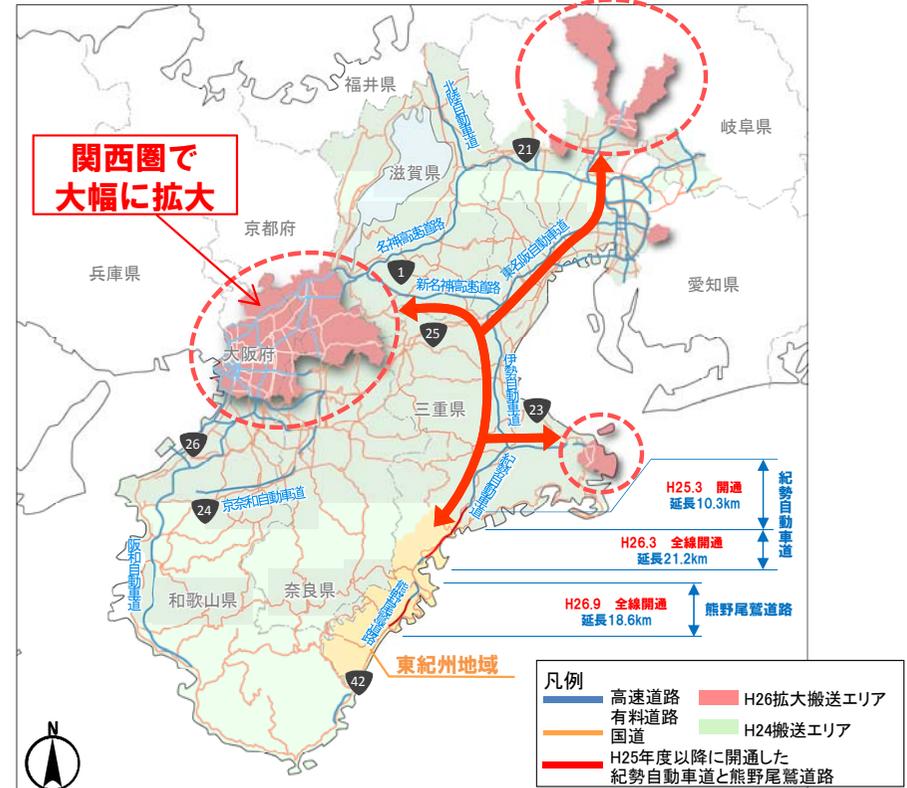
## ■東紀州地域を発着する貨物車両の搬送エリアの変化(H26年/H24年)

※面積・人口はH22国勢調査より作成



※平成24年4月～平成25年3月の貨物車プローブデータ(N=174)

※東紀州地域に発着する貨物車を対象



※平成26年4月～平成27年3月の貨物車プローブデータ(N=173)

※東紀州地域に発着する貨物車を対象

## 東紀州地域高速道路整備効果検討会

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路は平成26年3月30日に全線開通し、国・高速道路会社・県・市町が一体となり「東紀州地域高速道路整備効果検討会」を設立しました。

東紀州地域では高速道路開通以前より、自治体・民間による投資、キャンペーン等の取組の結果、観光入込客が過去最高を記録するなど、様々なストック効果※が現れています。

今回、高速道路の開通がもたらした様々な効果を「国・高速道路会社・県・市町が一体」となって幅広く調査・分析する事で「個々では見えなかった効果」などを把握し、それを広くPRする事などにより、東紀州地域の更なる地域活性化・地方創生に期待しています。

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果

三重県県土整備部道路企画課・尾鷲市市長公室・熊野市市長公室・紀北町企画課  
御浜町産業建設課・紀宝町企画調整課・中日本高速道路株式会社名古屋支社  
国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路(株)



国土交通省